

「杞憂と危機管理」

(株)伊藤公治商店

伊藤 玄二

杞憂 昔、中国の杞という国に気の小さい男がおり、天が崩れて落ちて来るのではないかと夜も眠れないほど心配していたという故事から。無駄な心配のこと。

昨年、新幹線の中で女性二人が切りつけられ、止めに入った男性客が刺殺されるという痛ましい事件がありました。

勇気ある乗客がもみ合っている間に車掌が駆けつけ、座席を取り外し、それを盾にして犯人を制圧したと記事にはありました。

そのような乗客が居ず、車掌も居なかったらどうなったでしょう？

ゆりかもめがそうなのです。

ゆりかもめは日本に数少ない無人路線です。ニューヨークの地下鉄が無人で運行されていることから、それに張り合う意図もあったと思われます。

しかし、大きな問題があります。通常、列車には非常時に脱出できる扉があります。ところがゆりかもめは高架で、勝手に避難されるのは危険と考えているのか、扉は内側からは開かないということになっています。(本当は開くのかもしれないが)

車両停止の時は迎えに行くまで待ってろということです。

運行当初は飛んできた紙くずがレールに挟まったなどの些細な理由で何度も立ち往生。その度に梯子車を出して迎えに行っているのが報道されていました。

その後、改良が重ねられたのでしょう。事故、地震以外では止まらなくなりました。

私は運行当初から、乗務員のいない、非常脱出もできない列車はとても危険だと思っていました。何らかの原因で車両火災が起きたらどうするのか。

過去には桜木町で車両火災が起き、当時は窓に格子があって逃げられなかったことからたくさんの犠牲者が出た事件もありました。

その後、隣の車両に移れる通路、非常脱出用のドアコックが備えられるようになったと言われていま

す。

博覧強記のI元都知事が知らないはずはないのですが。

数年前には北海道のトンネル内で車両火災が起き列車が全焼、車掌が「危険ですのでそのままお待ちください。」とアナウンスしてしまったにもかかわらず、乗客が我先にと逃げて(もちろん車掌も逃げた)奇跡的に全員無事だったという事例もありました。

非常時には自己判断、自己責任で避難する道を残しておくべきではないでしょうか？

そこで影響力のありそうな議員に機会を見つけては話をしたり、それまでしたことのない投書、メール送信もしてみました。

「無人の運行は技術的には立派なものです。世界に誇りたい気持ちも分かります。乗務員がいないことで、コストも相当切り詰められたと思います。それでも車掌なり、ガードマンなり、一人乗せておき、万一の場合の保安、避難誘導に当たらせるというのが人間の知恵ではありませんか？」

唯一、反応があったのがY区議会議員。

ゆりかもめの避難訓練実施記録と3・11の時の内部資料を持って来てくれました。私が評価しているのは彼女のこういうところです。

それによると3・11の際、14時47分に地震発生、緊急停止した14本の乗客を避難誘導して、すべて終わったのが15時45分とあります。(非常時だからということなのでしょう。その時には高架の上を誘導して歩かせている写真もありました。)

ベストを尽くすことができたし、日頃の訓練が生きたとのニュアンスでしたが、それでも1時間かかっています。車両火災だったら燃え尽きるのに十分な時間です。

私が心配しているのはテロです。ニューヨークの貿易センタービル、ヨーロッパで頻発する無差別テロを思い起こしてください。過激派はセンセーショナルな、世界を震撼させるところを狙うことが多いのです。

東京オリンピックを世界が注目している時に、もし自爆テロで一編成の列車が丸々燃えてしまい、何百人も被害者が出ることになったら、世界に発信するメッセージとして大きなものになるのではないのでしょうか？

危機管理は自分で出来る範囲で考えなくてははいけません。

家族にはやむを得ない場合以外、ゆりかもめには乗らない、オリンピックが近づいたら完全に禁止と話をしています。

杞憂に終わることを願っています。



ゆりかもめ7300系電車

出典：<https://ja.wikipedia.org/wiki/>